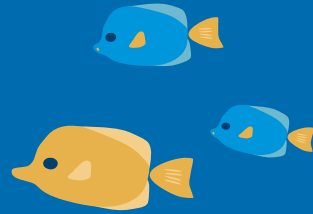
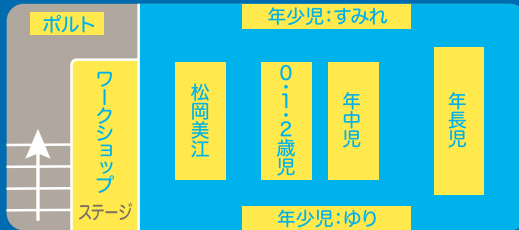


作品展案内図

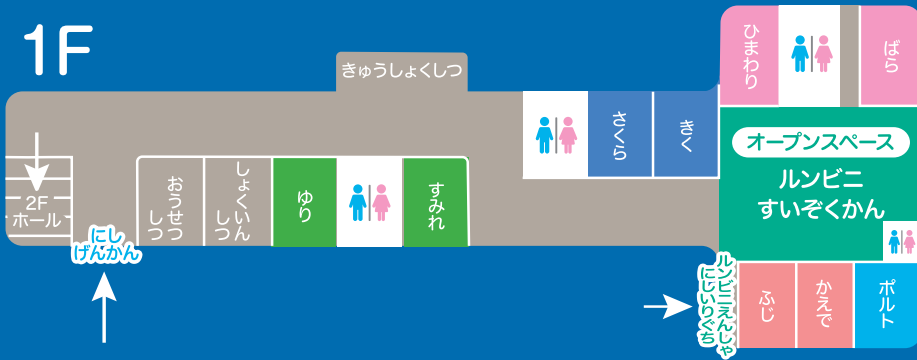
さくひんてんあないず

2F

ホール展示「うみのなかまたち」



1F



ワークショップのご案内

わーくしょっぷのごあんない

ホールのステージにて、ワークショップのコーナーを用意しています。小さな魚の形に切った画用紙にいろいろなシールを貼り、自由に模様をつけてオリジナルの魚を作ってくださいね。魚を作ったあとは網に付けて、小さな魚をどんどん集めて大きな魚になっていく予定です。ぜひご参加ください。



令和5年度

さくひんてん プログラム

日時

令和6年2月3日(土)
9:00~11:00

場所

認定こども園 金生幼稚園

作品展のテーマと内容

さくひんてん

ないよう

0・1・2歳児 『砂浜～貝殻～』（個人製作）

季節に応じた遊びや絵本の読み聞かせを経験してきた子ども達。保育者と一緒に見たり触れたり、五感を大切にしてきました。アート活動では、砂浜に見立てたプチプチや絵の具の感触を味わいながら、砂浜をイメージして製作を楽しんできました。保育者と一緒に砂浜の貝をイメージして、一人ひとり素敵な貝を作りました。ぜひご覧ください。

年少児 『みんなの海』（個人製作）

海ってどんなところかな？子ども達と一緒に海について考えていると「さかな！」「サメおる！」など海の生き物について楽しそうに話してくれました。子ども達にとって海はたくさんの生き物が集まる楽園のようです。食品トレーをもとに様々な素材を使い、子ども達の「これがいい！」という気持ち、アイデアを取り入れながら製作しました。自由にカラフルで、生き生きとした子ども達の海の世界をどうぞお楽しみください。

年中児 『海の中のクラゲとサンゴ礁』（個人製作）

海の中にいるクラゲを製作しました。いろいろな素材に触れながらカラフルに仕上げました。一人ひとり個性あるクラゲをぜひご覧ください。もう一つは、サンゴも製作しました。カラーペンで好きな模様を描き、霧吹きを使って活動を楽しみました。乾くときれいな模様が浮き出ていました。みんなの作品を重ね合わせてサンゴ礁をイメージしています。

年長児 『深海の生き物』（個人製作）

親子遠足で水族館へ行き様々な海の生き物を見たり、子育てわくわく体験事業で行った川之江漁港では海底のプラごみについて学んだりしました。今回その経験を生かして、お家から出たプラスチックなどの廃材を使って深海に住む生き物を作りました。「深海って真っ黒だから光とんよな」「体は透明なものもあるよね」と、水族館の様子を思い出しながら製作を楽しんでいた子ども達です。ブラックライトで照らすと光るものもあります。深海に住む不思議な生き物の世界の冒険へ、どうぞお入りください。

ホール展示

『うみのなかまたち』

今年度は、年中・年長児がデジタルアート水族館の体験をしたり、年長児が親子遠足で四国水族館へ行ったり市の体験事業で漁港見学に行ったりと、海に関心や興味をもつ機会が多くありました。それをきっかけに、ののさまアート(異年齢児交流活動)では美術講師のみえ先生と一緒に海の世界を感じられるような光あそびを体験し、各学年が創造した海の中を製作しました。普段の遊びやアート活動を通して「つくってみたい!」「やってみたい!」という意欲を育み感じたことを、作品に表現しています。ぜひお子さんの話を聞きながら、金生幼稚園の海の世界をお楽しみください。

ボルト 『しぶきがおどる!』

世界的にも有名な日本の浮世絵、葛飾北斎の「富嶽三十六景」に挑戦しました。子どもたちの個性が光るカラフルでポップな作品です。波の荒々しさ、飛沫のキラキラ踊る様子を表現した細部まで堪能してください。

松岡美江 『流体』

もしかしたら。とある木から、とある川を通して、遠い海を渡ってきたかもしれない。色んな景色を背負って流れ着いた一本の木には、成長を共にしてきた一枚の衣服と繋がる部分を感じました。どんな記憶が刻まれているのでしょうか。

ルンビニ展示

『ルンビニ水族館』（年長児デザイン画）

親子遠足で行った四国水族館での思い出を振り返りながら、タック式版画製作をしました。子ども達自身が描いたスケッチを見たり絵本や図鑑で調べたりしながら、イメージを広げて海の生き物を作っていました。版画にうつす時には「上手にできたかな…」とドキドキしながら楽しんで取り組んだ子ども達。額縁も子ども達が丁寧に飾り付けて製作しました。

子ども達のアイデアたっぷりのオリジナル水族館をどうぞお楽しみください。ののさまアートで描いた透明シートも展示しています。窓からの自然光を通してご覧ください。